



9月は健康増進月間です

「健康寿命延伸」

「1に運動 2に食事」

「しっかり禁煙 最後にクスリ」

泉佐野市では、市民一人ひとりの健康が活気のあるまちづくりにつながるとの理念のもと、平成27年3月に「健康増進計画」を策定、平成28年3月に健康都市宣言し、健康づくりを推進しています。

問合せ 健康推進課

健康フェスタ

(健康マイレージ対象)

健康づくりに関する情報が盛りだくさんです。医師などによる健康相談も実施します。

日時 10月15日(日)

午前10時30分～午後3時

場所 メディカルりんくうポータル(南海・JR「りんくうタウン」駅徒歩5分)

「駅」駅徒歩5分)

● 体験コーナー(足裏バランス測定など)

● 日焼け止めお試し会

● 健康ボランティアによる折り紙体験

● クイズラリーや食育(塩分を考える)など

● 講演会「ウォーキングにいい靴の選び方(仮題)」

時間 午後1時～2時

対象 市内在住・在勤者

定員 30人(先着順)

申込 9月1日(金)以降に健康推進課へ

協賛 ロート製薬株式会社

問合せ 健康推進課

※参加無料(体験コーナー一部有料)



9月24日～30日は

結核予防週間

結核は、過去の病気ではありません

結核の感染・発病を防ぐには、予防接種、早期発見、体力の保持が大切です。

【結核予防7つのポイント】

● せきが2週間以上続いたら、早めに医療機関を受診する

● 定期的に健康診断を受ける

● 乳児の予防接種(BCG)を必ず受ける

● 栄養バランスのとれた食生活を心がける

● 禁煙する

● 疲労を避け、ストレス解消につとめる

● 高齢者や免疫力の落ちている人は特に注意する

問合せ 泉佐野保健所

(☎462・7703)

被爆二世健康診断

対象 府内在住の被爆二世で受診を希望する人

申込 9月1日(金)～10月31日(火)

に泉佐野保健所(☎598・0001)

01上瓦屋583番地の1 ☎462・7701

Fax 462・5426)へ

※実父母の被爆者健康手帳の番号と受診申込者の印鑑が必要。

実施日と健診場所は申込をされた後、本人に直接通知

問合せ 府 地域保健課 疾病対策・援護グループ(☎06・6944・9172)

※受診無料

石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査

泉佐野市では大阪府からの委託で、石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査を実施します。

期間 平成31年度まで(予定)

内容 問診、胸部CT検査、保健指導、精密検査(胸部CT検査の結果、石綿を原因とする肺疾患が疑われる場合のみ)

※胸部CT検査を受診しない人は、調査対象にはなりません。

目的 石綿検診の実施を見据え、試行調査を実施することを通じて、実施主体・既存検診(肺がん検診など)との連携方法・対象者、対象地域の考え方・検査頻度・事業に要する費用などの課題・検討を行うこと

対象 次の①～④の全てにあてはまる人

①市内に住居票がある

②調査対象地域やその周辺で石綿取扱い施設が稼働していたなど石綿飛散が発生した可能性のある時期に、当該調査対象地域に居住していた

③市が検査を実施する医療機関などで受診できる

④試行調査の内容を理解し、調査への協力に同意する

※条件に該当する人であっても、下記の人は対象外になります。

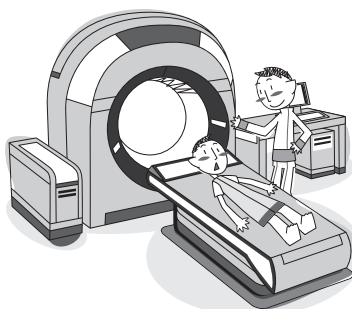
● 労働安全衛生法の石綿健康管理手帳を取得しているまたは交付要件に該当している

● 石綿障害予防規則により職場などで石綿に関する特殊健康診断を受けることができる

● 石綿関連疾患が原因で医療機関を継続的に受診し、石綿関連疾患に係る健康管理が行われている

申込・問合せ 健康推進課

※受診無料。調査の流れや実施医療機関など詳しくは問い合わせてください。



音楽健康指導士2級養成講座（泉佐野会場）

音楽介護予防教室「泉佐野元気塾」の講師となつていただく音楽健康指導士を養成するための講座を開催します。

日時 12月19日(火)・20日(水)、来年1月22日(月)・23日(火) (全4回) ※別途在宅講座あり

場所 社会福祉センター（中庄1102番地・旧保健センター）

※駐車場は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

- 内容 ●在宅講座…「音楽健康指導士」「介護・福祉」「音楽健康セッション」の理解
●集合講座…「音楽と健康」「運動と健康」「音楽健康セッション」の実践
●認定試験



対象 泉佐野市在住の18歳以上で、資格認定後に「泉佐野元気塾」のインストラクターとして従事することを承諾できる人

定員 25人（申込多数の場合は抽選）

受講料 10,800円（初回認定費用）※同額の資格認定更新費用が3年毎に必要

講座運営・申込・問合せ 10月2日(月)～31日(火)に一般社団法人 日本音楽健康協会（☎03-5488-6061 Fax03-3280-2188）へ

地域の医療連携の中核を担う

りんくう総合医療センター

問合せ 地域医療連携室（☎469-3111 Fax469-7929）

消化器内科
主任部長 大西 亨



当院は日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会の指導施設に認定されています。

消化器内科が扱う疾患は腹部が中心で、食道・胃・小腸・大腸などの消化管と、肝臓・脾臓・胆のうなどの実臓器までと多岐にわたっています。地域の中核病院として救急から慢性期までの幅広い疾患を扱うだけではなく、早期胃癌の内視鏡的切除、大腸ポリープの内視鏡治療、胆石胆管炎の内視鏡治療（乳頭切開術・砕石術）およびB型・C型慢性肝炎の経口薬治療に積極的に取り組んでいます。

現在、常勤医は2人で、両名とも日本消化器病学会指導医であり1人は日本消化器内視鏡学会指導医、1人は日本肝臓学会専門医となっております。非常勤医師の助けを借りながら外来診察および上部内視鏡、下部内視鏡ともに平日はすべて受けていただけるようになっています。必要があれば予約外でも緊急で内視鏡検査が可能です。

内視鏡検査というと苦しいイメージがあるかと思われませんが、胃カメラでは経鼻内視鏡（鼻からの内視鏡）や鎮静化（眠っているうちに検査をする）ことも可能です。また、大腸カメラでは炭酸ガス送気（検査によるおなかの張りが楽）にて検査を行っております。何事も「早期発見・早期治療」が大切です。各種がん検診や肝炎検診を進んで受け、異常があれば、かかりつけ医より当院に紹介していただきますようよろしくお願いいたします。

放射線技術科
技術科長 小西康彦



心臓の血管がつまる「心筋梗塞」、脳の血管がつまる「脳梗塞」、脳の動脈瘤が破れる「くも膜下出血」。これらの病気はいつ起こるか分からないだけでなく、すみやかに治療を開始しないと重い後遺症が残ったり、死に至る大変危険な病気です。治療方法には手術やカテーテル治療があり、放射線部門はカテーテル治療に対応しています。すでに今年1月からの半年間で心臓118人、脳血管52人のカテーテル検査・治療を実施しており、放射線技術科では、すみやかにカテーテル検査・治療が開始できるようスタッフの教育・研修に力を注いでいます。

「心筋梗塞」が疑われるが明らかな症状がない場合、心臓CTで確認することもあります。そのため心臓CTの撮影も24時間体制で実施できるようにしています。

「脳梗塞」の場合、CT検査で出血がなくMRI検査で梗塞が疑われるとカテーテル治療の対象となります。そのため、当院ではMRI検査が24時間実施できる体制としています。

「くも膜下出血」は、原因となる脳動脈瘤を発見し予防的治療を行う事で防ぐことができるといわれています。脳動脈瘤を探すには、脳の血管を任意の断面で観察できる脳MRA検査が有用で、当院ではより詳細な部分まで観察できる高磁場MRI装置（3T）を用いて検査を行っています。当院の人間ドックでは「脳ドック」に脳MRAが組み込まれており、昨年度は5人に1人の方が「脳ドック」を選択されています。

今回は、より迅速な治療開始が必要な病気に対する放射線技術科の体制の一部を紹介させていただきました。今後ともより安全な治療体制を目指して努力していきたいと思っております。